

ERCPC用防護具

(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)

TI 2005年より、特注対応を重ねて技術蓄積してきたERCPC用防護具を規格製品化しました。

検査室内の医療従事者全員の被ばく線量を効率よく大幅に低減できます。
X線透視撮影装置のX線管カバー上面から、覆い被せるように装着する防護具です。
掲載タイプは一例です。ご使用の装置に合わせて設計致しますので、ご相談下さい。

※仕様異なる場合や、一部には対応できない装置もございます。また、装置メーカー様とのメンテナンス契約内容などにより、装着ができない場合がございます。予めご了承ください。

被検者からの散乱線を
80%程度カット

<カタログ掲載タイプの概要>
タイプ：TI-CUREVISTA用(3面仕様)
鉛当量：0.175mmPb
カラー：表イエロー/裏グレー
重量：約6kg

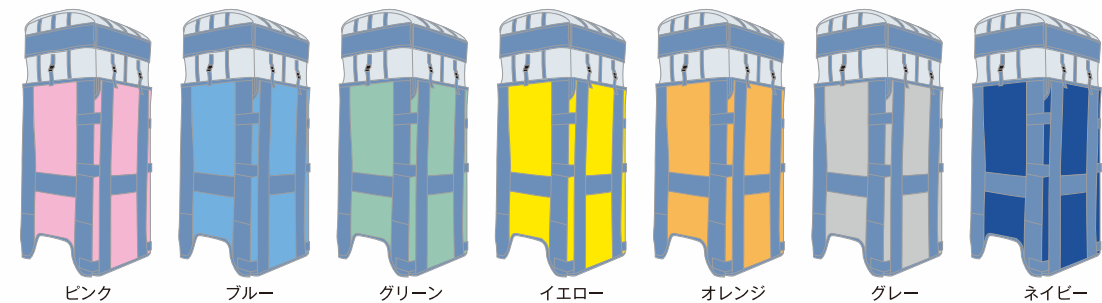


折り曲げ時
被検者の体格に合わせて調節できます

特徴

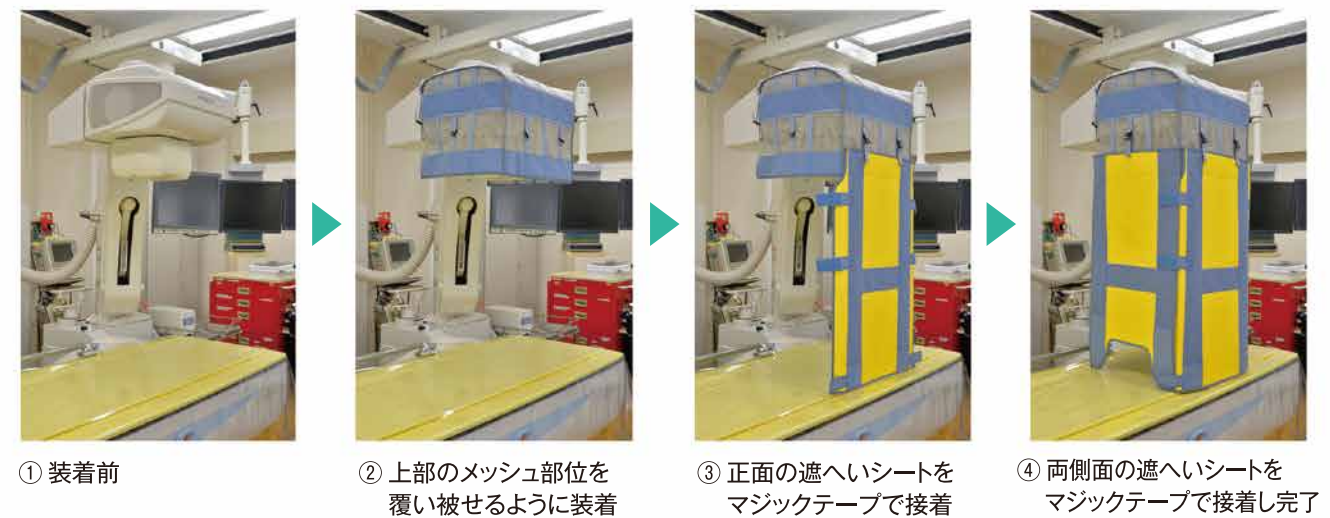
- ① メッシュ素材**
X線管カバーに覆い被せる部位には、メッシュ素材を採用し、X線装置への重量負荷を軽減すると共に、X線管の放熱を妨げないように配慮しています。
- ② 幅の広いマジックテープ**
接着面積の広い(10cm)マジックテープで、上部メッシュ素材に側面の遮へいシートを接着して垂れ下げます。
- ③ 脱落防止バックル**
万が一の脱落防止用のバックルベルトも装備しています。
- ④ 接続ベルト**
正面と側面の遮へいシートの重ねシロを広く確保し、さらに、ベルトでしっかり接続することで、各接続面からの散乱線の漏えいを防ぎます。
- ⑤ 柔軟な遮へい素材**
被検者に負担を掛けないように、X線防護衣と同素材の柔軟な遮へいシートを使用しています。
カラーは、防護衣の標準色から選択可能です。装着時に表裏の区別がしやすいよう、表裏別色を推奨します。

標準色7色



X線透視撮影装置への装着方法(例)

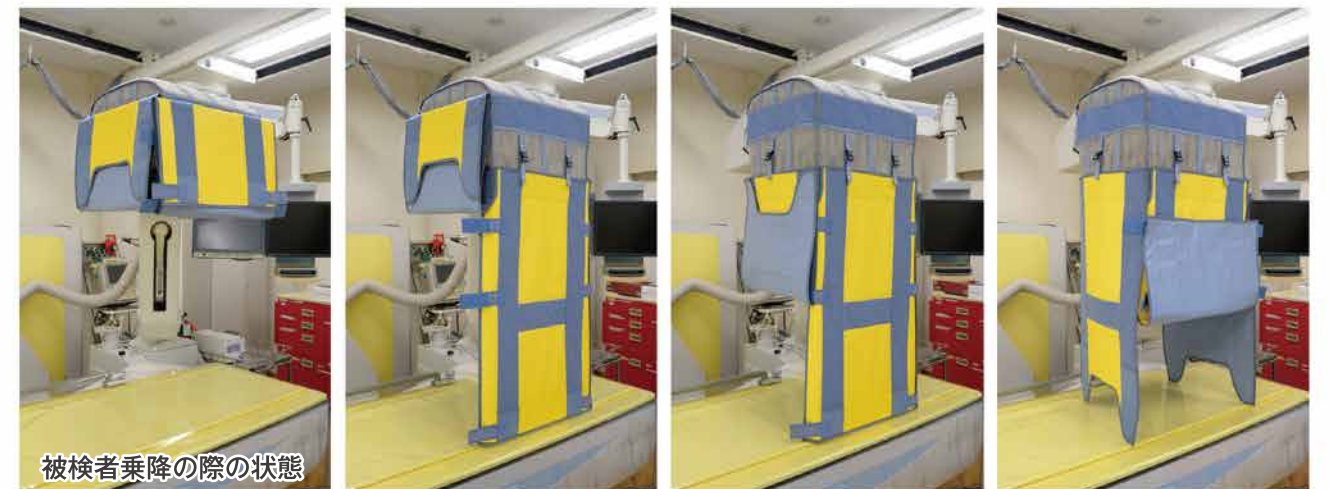
マジックテープを接着するだけの簡単な作業で装着できます。



① 装着前 ② 上部のメッシュ部位を覆い被せるように装着 ③ 正面の遮へいシートをマジックテープで接着 ④ 両側面の遮へいシートをマジックテープで接着し完了

遮へいシートの長さ調節方法(例)

任意の高さにマジックテープを貼り付けて止めることができます。



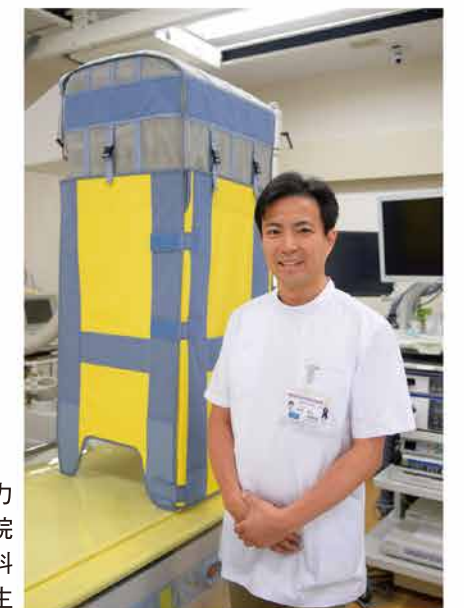
被検者乗降の際の状態

3面タイプ他、全周防護の4面タイプもございます。



3面タイプ(背面遮へいシート無) 4面タイプ(背面遮へいシート有)

X線装置:CUREVISTA 富士フイルムヘルスケア(株) 様製
※関連する学術論文等もご案内できます。必要な際にはお申し付けください。



設計・撮影ご協力
東京医科大学病院
消化器内科
糸井隆夫 先生